

2021 年 (令和 3 年) 3 月 28 日(日) NO 156 号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆ 商号	株式会社 ケイプロ	https://k-puro.co.jp
◆ 屋号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆ 本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆ 千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



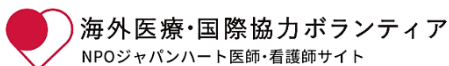
機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://kawaguchi-morning.jp/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	https://saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体企業】



今月の言葉

喜びを届ける仕事



今の自分に与えられた仕事を通じて、
人の喜びや幸せにどれだけ貢献できるか—
そうした気持ちで仕事と向き合うとき、目の前にある
仕事がいっそう意義深いものを感じられるでしょう。
そこに確かな手ごたえが得られたなら、感激が生まれ、
それが「働きがい」や「生きがい」にもつながっていく
のではないのでしょうか。

日々の仕事と向き合う中で、自分の中に迷いを生じたり、張り合いがないと感じたりするときは、「誰かの心に喜びを届ける」という視点で仕事の意味をとらえ直してみませんか。

今月の良い話

どのような「思い」を抱くかで人生が決まる

本日は、「君の思いは必ず実現する」というテーマで、人間が心に抱く「思い」がどのくらい素晴らしい力を持っているのかということについて、お話ししていきたいと思っています。なぜなら、私はこれまでの八十二年にわたる人生を通じて、心にどのような「思い」を抱くかで、人生そのものが決まっていくのだということを幾度も経験してきましたし、そのことはこの世の真理であると確信しているからです。



.....

それでは、まず人間が「思う」ということは一体どういうことなのか、ということから考えてみたいと思います。我われは一般に、物事を論理的に組み立てたり、頭で推理推論したりすることが大切であり、「思う」ということは誰にでもできることなので、たいしたことではないと捉えています。しかし、この「思う」ということは、論理的に推理推論したりすることよりも遥かに大事なものです。我われが生きていく中で、この「思う」ということほど大きな力を持つものはないと私は信じています。

今日お集まりの皆さんも、勉強ができる、頭がよいということが大事であると思われるかもしれませんが、もちろん、それもとてとても大事なことです。しかし、心にどのようなことを「思う」ということはそれよりも遥かに大事なことです。しかし、そのことに多くの人は気がついていません。

.....

実は、この「思う」ということが、人間のすべての行動の源、基本になっているのです。そのことは、二つの側面から捉えることができます。まず、我われが毎日の生活を送る中で抱く「思い」の集積されたものが、我われの人間性、人柄、人格をつくり出しています。

「自分だけよければいい」という、えげつない「思い」をずっと巡らせている人は、その「思い」と同じ、えげつない人間性、人柄、人格になっていきます。

逆に、思いやりに満ちた優しい「思い」を抱いている人は、知らず知らずのうちに、思いやりに溢れた人間性、人柄、人格になっていきます。

「思い」というのは、ことほどさように非常に大きな影響を我われに及ぼしているわけです。..... (中略)

京セラにしても、KDDIにしても、また日本航空にしても、決して初めから成功が見えていたわけではありません。いずれも、最初は空想みたいな「思い」、何としてもやり遂げようという「思い」から始まっていったものです。

しかし、その「思い」を強く抱き、誰にも負けない努力を続けることで、空想みたいな「思い」だったものが、想像を遥かに超えた素晴らしい未来をもたらしてくれたのです。

「思い」というものは、そのくらい素晴らしく、強いパワーを持っています。

ですから、ここにおられる皆さんは、人間の持つ「思い」は必ず実現することを信じるべきです。「こんなことを思っても高望みではないか」「どうせ実現しないだろう」などとは、決して思ってははいけません。できるだけ高邁な「思い」、崇高な志を持って、その高い目標に向かって必死の努力をしさえすれば、必ずその「思い」は実現していくはずで

同時に、それが「世のため人のために尽くす」といった純粹で美しい「思い」であれば、自分の能力を超えて、周囲の人々、さらには自然の力をも得て、実現していく可能性は高まっています。

////////////////////////////////////

稻盛 和夫（京セラ名誉会長）2014 年母校鹿児島玉龍高校での講演 記事提供 致知出版社

今月の良い話

SNS と「羅生門」の世界

芥川龍之介の代表作である『羅生門』。

荒廃した京を舞台に繰り広げられる下人と老婆の人間模様は、現代社会を象徴するものであると鈴木秀子さんは語られます。

主人公の下人は、この荒れ果てた羅生門の下で、行く宛でもないまま雨が止むのを待っていました。住む家も職も失っていた下人は、「盗人になるより仕方がない」と思いを固めて楼閣の梯子を上っていきます。そして、そこで一人の老婆の姿を目にします。老婆は羅生門の上に無造作に捨てられた死骸の髪の毛を一本一本抜いていました。それは想像するだけでも背筋が凍るような光景です。



老婆の姿を見た途端、下人の心の中で、あらゆる悪に対する反感が強さを増してきたという場面から、私はこのところ大変気になるある現象を思い浮かべます。それは、特定の人にターゲットを絞ってとことん追い詰めるSNSの負の一面です。

繰り返し罵詈雑言を浴びせかけ、最後は自殺にまで追い込んでしまう人間の心理状態は異常という他ありません。

この悪しき風潮の引き金になっているのは、間違った自己中心的な正義感です。

気に入らないことがあると自分は正しい、相手は間違っていると決めつけ、あたかも正義の権化になったかのような錯覚に陥って他人を攻撃してしまうのです。時にそれは麻薬のように人間を狂わせる破壊力すら持っています。

下人はずっと鬱々とした状態でいました。

そういう時、目の前に老婆が現れるや、たちまち正義の塊のように心が変化し、どこからともなく力が湧いてくるのを感じます。

下人の意識はその時、それまで自分が盗人になろうとしていたことすらどこかに吹き飛んでいたのです。この下人のように、私たちの心も何気ないきっかけによってマイナスの方向に大きく舵を切る危険性を秘めています。

殊にいまのコロナ禍のような圧迫された空気に覆われた時、下手をすると人を叩きのめすことで自分を守ろう、気晴らしをしようとする本性がむきだしになりかねません。

SNSのような相手の顔が見えない世界においてはなおさらです。

そういう落とし穴が生活のいろいろなところに潜んでいることを知らなくてははいけません。

正義という言葉は確かに力強く耳心地のいい響きがあります。

しかし、正義は自分から見れば正しくても、相手から見ればとんでもない思い上がりであることもあるのです。善悪を判断する物差しは人によって皆異なります。

だとしたら、「自分は正しい」「間違っているのは相手だ」という思い込みを一度手放して、相手の立場に立って冷静に物事を捉える習慣が私たちには求められます。

鈴木 秀子（日本近代文学研究者）

記事提供 致知出版社

事件ファイル NO156

宅配物や郵送物の盗難

昨今、コロナ禍の影響により宅配物や郵送物の量が増加し、それを狙う泥棒が増えているようです。

小さな宅配物などはポスト投函によるものがほとんど。

また A4 大のレターパックや右写真の少し大きい郵送物などは、小さなポストの場合、ポスト内に収まり切れず外側にはみ出てしまいます。



また、宅配業者の方との接触を避けるため、宅配物を玄関前に置いてもらうケースも多くなりました。これらを狙う泥棒は今後も増えるように感じます。

対応策としては、防犯カメラを設置する等、補助的な方法がありますが、戸建ての場合は、ポストを錠付きで A4 サイズ以上のものが入る大きなもの、そして投函口から手が入らないものに交換されることをお勧めします。

いずれにせよ錠は必ず掛けるようにして下さい。

マンションの場合は、共用部分のため交換は出来ませんので、小まめにポストを確認するしか方法がないように思います。このような犯罪も増えてきていますので十分ご注意ください。

プロ太の小話集

NO156

『 レストランにて 』

アメリカのとあるレストランで、黒人と日本人が並んで座っていた。

食事を終えた黒人がマスターに言った。

「アメリカン、ブラック」

それを聞いた日本人が、続けてこう言った。

「ジャパニーズ、イエロー」



//////////
今月の表紙の花 ：エビネ「謙虚」

K-PURO ニュースいかがでしたか？

いつも貴重な情報をいただいている雑誌「致知」ですが、今月号は特集「稲盛和夫に学ぶ人間学」でした。その中で特にインパクトがあったのが、稲盛さんの特命秘書を務められ、JAL の再建にも一緒に取り組まれた大田嘉仁氏との会話です。

「俺の代わりに外部の人と会うことも多くなると思うが、おまえが話したことを外部の人は俺の意見だと思うだろう。だから考え方も何もかも合っていないといけない。おまえが少しでも傲慢になれば、おまえの上司である俺までもそう思われる。だから、まずは謙虚さを大切にしてほしい。謙虚さは魔除けだ。謙虚である限り失敗することはないし、悪い人間も寄ってこない。」という一文です。私自身、自分を身の丈より大きく見せようとか強引に物事を推し進めようという傲慢さが心のどこかにありましたが、この一文から自己反省した次第です。家訓七箇条に「謙虚さは魔除け」を付け加え、八箇条に改定しようと思います。

注：プロ太とは、写真の K-PURO 番犬です （体長 10 メートル・体重 1 トン・無敵無敗）